

基本目標3【しごと】地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

ページ	実施計画事業No	実施計画事業名称	担当課	事業指標	R3 目標値	R3 実績値	R3目標 達成状況	最終年度(R6) 目標値	関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R5 目標値
116	1	水産業振興事業	産業振興課	種苗放流量	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オコゼ 25,000尾 アサリ300kg	ガザミ20,000尾 キジハタ12,000尾 オコゼ 13,800尾	▼	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オコゼ 25,000尾 アサリ300kg	海面漁業漁獲量	3,647t	2,857t (令和元年度)	3,652t
117	2	水産業振興事業	産業振興課	あたたハマチtoレモンの生産尾数	3,000匹	1,500匹	▼	4,000匹	あたたハマチtoレモンの価格	900円/kg	1,100円/kg	1,200円/kg
118	3(1)	鳥獣被害防止対策支援事業	産業振興課	イノシシによる農作物被害額	290千円	222千円	○	275千円	新規就農者数(累計)	0人	0人	1人
119	3(2)	ひろしま給食地産地消促進事業	産業振興課	給食センターへの年間出荷回数	100回	52回	▼	160回				
120	4	農業次世代人材育成投資事業	産業振興課	人・農地プランの策定数(累計)	1	0	▼	1				
121	5	農業振興事業(農産物などのブランド化・商品開発支援)	産業振興課	新たに開発された商品数	1商品	1商品	○	1商品				
122	1	商工振興事業	産業振興課	令和元年度からの産業振興奨励金措置指定件数(累計)	10件	9件	▼	20件				
123	2	工業用水道設備維持管理事業	上下水道局	給水を制限・停止した件数(天変地変など止むを得ない場合を除く)	0件	0件	○	0件	市内事業所数の減少率	△3.2%	※国の統計 数値を引用。 次回公表はR7。	△3%以内
124	3	中小企業経営安定支援事業	産業振興課	大竹市中小企業人材育成事業助成金の交付対象講習の受講者数(累計)	54人	56人	○	120人				
125	4	商店街等振興奨励事業	産業振興課	市内の商店街や商業者が連携して取り組む事業件数(累計)	17件	14件	▼	23件				
126	1(1)	観光宣伝等事業	産業振興課	大竹生まれ商品の登録数(累計)	18	24	○	26	市内観光客数(1月～12月)	470,318人	280,529人	520,000人
127	1(2)	広報事業	企画財政課	情報発信媒体数(広報・HP・SNS・動画配信サイトなど)	4媒体	4媒体	○	6媒体				
128	1	勤労者生活等支援事業	産業振興課	令和元年度からの働き方改革推進セミナーの参加者数(累計)	43人	33人	▼	88人	新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48	1.23	1倍以上2倍
129	1	港湾施設管理事業	土木課	アクセス道路に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)	0%	0%	—	※事業用地総面積確定後に設定	大竹港で取り扱う貨物の量	145万t	140万t (速報値)	160万t
130	2	漁港施設維持管理事業	土木課	漁港施設で対策が必要な箇所のうち、改修などに着手した箇所数(累計)	11箇所	11箇所	○	16箇所				

基本目標3【しごと】地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

令和3年度総合評価
<p>新型コロナウイルスの感染拡大が本市の産業界にもたらす影響が懸念されたが、本市に工場を構える企業の多くは堅調な経営を維持し、法人市民税や固定資産税などの市税収入への影響は見られなかった。</p> <p>一方で、商業分野は、飲食店への営業時短要請などによる経営の悪化が懸念されたことから、大竹商工会議所などと連携しながら、クーポン発行事業などの事業者支援や、中小企業支援を重点的に行った。令和4年度以降も新型コロナウイルスがもたらす影響は予測が難しく、物価高騰なども経営圧迫の要因となっており、廃業者の増加なども懸念されることから、商工会議所や金融機関、その他関係機関と連携した支援を継続・強化していくことが求められる。</p> <p>農林水産業では、本市のブランド魚である「あたたハマチtoレモン」が赤潮の影響で生産量を大きく減らしたが、商品としての知名度は向上しつつある。ただし生産業者が限定されており、生産量が拡大できない状況にあることから、生産量の増加と流通の拡大を図り、魚価の向上につなげていくことが、今後の大きな課題である。</p> <p>観光分野は、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限などで観光客数が大きく減少したが、令和4年度は市外からの往来も戻りつつある。大型遊具やデイキャンプ場を備え、家族連れに人気の晴海臨海公園に加え、隣接する県有地に民間美術館が来年開館する予定であり、新たな観光スポットとして本市の魅力を高めることが期待される。こうした動きを本市の知名度・イメージの向上に生かし、地元への消費拡大などにつなげていくことが重要である。用途が決まっていない旧小方小・中学校跡地の活用なども含めて、個々の事業を有機的に結び付けながら、地域経済の活性化や新たな雇用の創出につながるような取組の強化が求められる。</p>

★基本目標の成果を測る指標★

指標と目標値	考え方
<p>法人市民税納税義務者数を増やす</p> <p>692件(令和元(2019)年)</p> <p>↓</p> <p>710件(令和5(2023)年)</p>	<p>基本目標を達成することで、本市での起業者の増加や廃業者の減少、収益の増加などにより、法人市民税を納付する事業者が増えることが期待されます。</p> <p>法人市民税納税義務者数を新型コロナウイルスの影響以前までの水準以上にすることをめざします。</p>